



イメージキャラクター  
ふくにゃん

ふれあいネットワーク

曾於市社会福祉協議会情報紙

第94号

令和7年2月14日



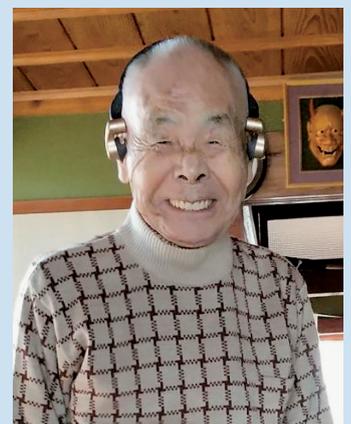
手と手

やさしさ  
100パーセント



### 今号の表紙作品「老いのしあわせ」

「作品を作り始めたのは、64歳の頃に木彫り教室に通い始めたのがきっかけでした。人生で嬉しかったのは、木彫りとランドゴルフに出会えたこと！もっと若いうちに出会えたらよかったなあ…。贅沢かなー。」「彫りたかった物を彫り切った」とおっしゃる須田さんですが、これからもまだまだ素敵な作品を作り続けていただきたいです。



末吉町 <sup>すだ</sup> 須田 <sup>ひさし</sup> 久さん(91才)の作品

理念 人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む

発行／社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会 曾於市財部町南俣 504 番地 1(財部保健福祉センター内)

TEL : 0986-72-0460・0480 FAX : 0986-72-0425

## 会長挨拶

社会福祉法人曾於市社会福祉協議会 会長  
山本 ひとみ



快晴に恵まれた穏やかな年明けから、既にか月が過ぎました。皆様方には、心新たに令和7年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から身近な地域での見守り活動や支え合い活動など地域福祉を推進する事業にご理解とご参加をいただき心より感謝申し上げます。

年末年始の新聞・テレビ等は、令和6年元旦に発生した地震により、甚大な被害が生じた能登半島の1年後の復興状況を報道していました。共同通信が実施した石川県6市町村被災者アンケートで、多くの住民が長く暮らし続けた地元で自宅を再建するなどの強い希望を持っており、また復旧や復興が進んでおらず社会の関心が薄れていると感じていることが分かりました。

昨年一年間に県内の社会福祉協議会から延べ42人の職員が被災地の災害ボランティアセンターでの活動に派遣されています。派遣を経験した職員が「地域のつながりが大事だと再認識した。障がい者の個別の避難計画も必要だ。被災地のことを忘れず、自分たちの地域で何ができるか考えたい」と話している新聞記事を読んだ数日後、日向灘沖を震源とした震度4の地震が本市でも発生しました。

被災地災害ボランティアセンターでの活動経験を重ねながら、頻発する地震や豪雨災害等に備え本市の災害ボランティアセンターの体制も、より整備していくことが必要と考えています。

また今年も、日本人口の約20%が75歳以上の後期高齢者となり、高齢化がさらに進むことから2025年問題とも呼ばれ、在宅医療・介護サービスのひっ迫が懸念されています。本市の少子高齢化、核家族化に伴う人口減少も急速に進み、各分野で労働力不足が広がっています。単身世帯の増加による、家族や親族に頼ることのできない高齢者等の生活支援や意思決定支援の必要性も高くなっています。子ども子育て家庭の生活困窮やヤングケアラー等の問題、福祉分野以外の社会課題にも広がりがみられている現状です。

このような中で、様々な立場や背景のある人が暮らし、一人ひとりに思いや願いがあることを踏まえその人らしく、安心して暮らせる地域づくりを推進することが重要です。困ったときに「助けて」とお願いできる人がいる、寂しいときに話を聴いてくれる人がいるなど、身近に頼れる人がいることで心強く安心して暮らすことができます。身近な地域での支え合い、助けたり助けられたりの関係が広がるのが地域共生社会の実現へのスタートになると考えます。

社会福祉協議会が、地域共生社会実現の中核的な役割を担う団体であることを再認識し、その施策・制度に積極的に関わり、既存事業の見直しや新規事業の開発に結び付けていくことが重要となります。また、行政を中心に地域の関係団体や社会福祉法人、民間企業など様々な社会資源と協働して地域の生活課題に合わせあらゆる福祉分野を包括し、総合的にサービスを提供していくことも必要です。

本会は未来を見据えて、住民とともにどのような地域づくりを目指すのか。「自分たちで地域をどうしていくのか」という住民主体の地域づくりの「連携・協働の場」としての役割を果たし、「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて様々な地域福祉事業に取り組んでまいりますので、今年も引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 生活福祉資金貸付制度のご案内

生活の自立  
を支援します

## 生活福祉資金って？

生活福祉資金貸付制度は、低所得者世帯や障害者世帯、高齢者世帯に対し必要な資金の貸付と併せて相談支援を行うことで、経済的な自立を促進し、安定した生活を送れるようにすることを目的とした制度です。

## 貸付の対象となる世帯は？

### 低所得者世帯

市町村民税が非課税・均等割課税世帯であり、世帯の平均的な月収が生活福祉資金貸付収入基準額を下回っている世帯。



### 障害者世帯

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯、その他、障害者総合支援法によるサービスを利用している等、これと同程度と認められる者の属する世帯。

### 高齢者世帯

日常生活上介護を要する65歳以上の高齢者の属する世帯であり、市町村民税が非課税・均等割課税で生活福祉資金貸付収入基準額よりも収入が下回っている世帯。

※上記の世帯に該当しても、他法優先などにより貸付の対象とならない場合があります。

## 資金の種類は？

### 総合支援資金

#### 生活支援費

#### 住宅入居費

#### 一時生活再建費

失業等により生活困窮となった世帯の再就職までの生活費や就職活動費、生活再建、住宅の賃貸契約に必要な費用など



### 福祉資金

#### 福祉費

日常生活を送る上で一時的に必要な費用（技能習得経費、住宅増改築経費、福祉用具購入経費など）

#### 緊急小口資金

日常生活を送る上で一時的に必要な費用や緊急かつ一時的に生計の維持に必要な費用

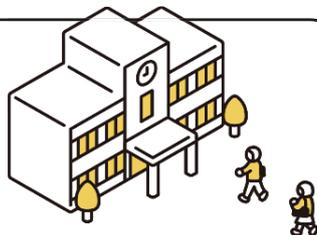
### 教育支援資金

#### 教育支援費

高校、専修学校、大学等に就学するために必要な費用（授業料、寮費・家賃、通学費用など）

#### 就学支度費

高校、専修学校、大学等の入学に際して必要な費用（入学金、制服代、教科書代など）



### 不動産担保型生活資金

#### 低所得世帯向け・要保護世帯向け

高齢者世帯の生活費（現在居住しており、一定額以上の資産評価のある不動産を担保に貸付契約を締結）

※要保護世帯向けは、保護の実施機関が資産の保有要件を除き保護が必要と認める世帯が対象

ご相談や申込み、資金の詳細については曾於市社会福祉協議会へお問い合わせください。

本所(財部) ☎ 0986-72-0460 | 末吉支所 ☎ 0986-76-2224 | 大隅支所 ☎ 099-482-3013

## 日頃の「備え」を大切に

### ふくしワークショップ 令和6年12月1日 そお生きいき健康センター

本年度も市内の小学生を対象に「ふくしワークショップ」を開催し、今回は、5名の高校生にボランティアの協力をいただき、「ふくしと災害」をテーマに行いました。「福祉のお話」や「防災すごろく」、「防災グッズづくり」を通じて、思いやりやボランティア、防災について考え、子どもたちからは「ふくしの勉強を学んで、人にやさしくしようと思った」「ボランティアのお兄ちゃん・お姉ちゃんが優しくてすごく楽しかった」「すごろくで防災クイズがあって、同じ机の友達と一緒に考えられて楽しかった」などの感想をいただきました。個人の備えと併せて日頃から助け合いの地域のつながりがあることが大切なことを、子どもたちが学ぶ機会になりました。災害時には、地域のつながりが大きな力を発揮します。今後も災害時も視野に入れた地域づくりの啓発を進めてまいります。



## ち い き の う ご き

### 地域の課題を我が事として考える

### 地域づくり連絡会 令和6年12月5日 そお生きいき健康センター

地域づくり連絡会は、地域福祉の推進を目的に、校区・地区公民館、コミュニティ協議会、校区社協の連携強化を図る場として開催しています。

今回は、地域共生社会づくりにおける生活支援の大切さについて考えることをテーマに、鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部副部長の瀬戸口誠氏より「『おたがいさま』の住民意識づくり」と題してご講話をいただきました。孤独死をはじめ、様々な福祉課題があるという現状や人と人のつながりの必要性、どうしたら地域の課題を我が事として考えられるようになるのかをわかりやすく解説していただきました。

また、グループワークでは、自分たちの地域の課題を出し合い、その課題の解決のために、自分たちが「こんなことできたらいいな」「こんな仕組みがあるといいな」といった前向きな取り組みを考えていただきました。地域活動を実践する同じ立場で、共通の悩みや認識が多く、地域の現状や課題、解決策について熱心な意見や提案が相次ぎ、参加者の皆様は生き生きと意見を出し合っていました。地域福祉活動における最大の課題は「無関心」です。住み慣れた地域の中で、安心安全に暮らし続けるために、一人ひとりが主体性をもつきっかけを作っていくことが必要だと感じました。



# ち い き の う ご き

## 「ありがとう」が繋ぐ地域の絆

ほっとサービス連絡会 令和6年12月20日  
そお生きいき健康センター

「ほっとサービス」は、日常生活上の困りごとを住民同士の助け合いで支援する会員制の有償サービスです。本会では、サービスの充実と協力会員のつながりづくりを図るため、連絡会を開催しています。

今回の連絡会では、協力会員の小幡留美子さんから協力会員になったきっかけやほっとサービスから同じ地域の住民同士としての関係が築かれたこと、自身にも役割を持てていることの喜び、そして、地域での助け合いが広がっていくことでみんなが安心して生活できるようこれからも自分でできることを続けていきたいという思いを伝えていただきました。

また、依頼会員から協力会員へのメッセージをお届けし、依頼会員の皆さんからの「ありがとう」の言葉に涙ぐまれる姿も見られました。

その後は、地域にある困りごとに対し、地域だからこそできることについてみんなで考えるグループワークを行い、「集いの場を増やした方がいい」「リーダーが必要だ、人材はいるはず」「ほっとサービスをもっと広げたい」といった意見が出され、和気あいあいの中であつという間の時間となりました。

今後も住民の助け合いを地域に広げていけるように、ほっとサービスの充実を図っていきます。



### 「ほっとサービス」とは??

「ほっとサービス」は、「自分たちの住むまちを、自分たちの手で住み続けられるようにしたい!」という思いを形にした住民同士の有償の助け合いサービスです。

日常生活上の困りごとを、住民同士の助け合い活動で支援します。そして、サービスを通じて、人と人とのつながりを生み、地域の支え合いを広げていきます。

**買物代行 ゴミ出し、分別 家事援助 通院付添 など**

公的サービスや自分・家族では対応できない困りごとのお手伝いをします。

利用を希望される場合は、曾於市社会福祉協議会へご相談ください。

また、「地域のために自分にできることをしたい」という協力会員の登録も受け付けています。

サービスをお願いする人も、協力して下さる人も登録が必要です。

(登録料は無料です。)

曾於市社会福祉協議会へご相談ください。



# 一人ひとりが輝く 地域づくりフェスタ

2024.11.16 末吉総合体育館



市内 69 カ所で活動している体操教室のメンバー 170 名が集まり、「一人ひとりが輝く地域づくりフェスタ」が開催されました。

いつも体操教室でしている体操や口腔体操をそれぞれ専門職にご指導いただき、運動のポイントの確認をしながら行いました。その他にも、曾於市食生活改善推進員による音楽体操、市保健課による「サンバのリズムで楽しく体 S00！」、軽スポーツの体験など楽しく行いました。また、曾於郡歯科医師会による無料口腔がん検診や末吉デイサービスセンターの筋肉量・体脂肪量測定、のどか園、シオン舎の野菜やパンなどの販売、地域包括支援センターのブースでは、地域で活躍されている高齢者の皆さんの手作り小物などの作品展示販売もありました。参加者からは「体操教室に参加している人達が一堂に集まる機会を作ってもらうことで、連帯感が生まれ、これからも教室への参加を継続していこうという気持ちになる。」「脳トレ、音楽体操を早速教室の皆さんと一緒にしたいと思います。」との声が聞かれました。

体操教室では、介護予防と住民同士のつながりづくりが図られています。今後も活動の推進を行っていきますので、体操教室の立ち上げなどご相談がありましたら、曾於市社会福祉協議会へご連絡ください。

# 令和6年度 あんしん・安全ネットワークオンラインセミナー

令和7年1月22日、鹿児島県社会福祉協議会が主催する「令和6年度 あんしん・安全ネットワークオンラインセミナー」が開催され、曾於市では、財部保健福祉センターと大隅弥五郎伝説の里に会場を設け、55名の方が参加されました。

本セミナーは、地域で声かけ、安否確認等を行う見守り活動やサロン等の居場所づくりなどの住民が主体となった取り組みが展開されている中で、「住民のつながりづくり」は今後もますます必要とされることから、県内の様々な活動事例を通じてつながりの重要性の再認識と活動の展開方策等を協議することを目的としています。

セミナーではパネルディスカッションが行われ、今回、ほっとサービスの協力会員として小幡留美子さんが発表されました。小幡さんは、協力会員としての思いや助け合いの必要性の高まりを感じていることを伝えられ、地域で助け合いが広がっていくことの願いを発信されました。



## ご存じですか？ 訪問入浴介護の仕事



※イラストの引用元：株式会社デベロ

訪問入浴介護事業は、訪問入浴車でご自宅を訪問し、お部屋の中で入浴していただくサービスです。看護師を含めた専門スタッフ3名がサポートし、専用の浴槽を使用して、横になったままお風呂に入れるため、寝たきりの方や医療度の高い方も、安心して入浴をお楽しみいただけます。入浴する事で清潔を保つことはもちろん、気持ちもリフレッシュできます。

### 訪問入浴介護員より

#### 曾於市社会福祉協議会 訪問入浴介護員 牧迫みどりさん

訪問入浴の仕事は体力的には少々大変な時もありますが、3人チームで協力しながら支援するのでとても安心感があります。入浴していただいて「気持ちよかった」と言ってもらえる言葉は勿論嬉しいですが、入浴中にご利用者様やご家族様とお話させていただいて見せてくださる笑顔が私たち職員も嬉しく、この仕事をして笑顔や元気を与えられているというやりがいがあります。少しでも痛みが和らいだり、気分転換になってもらえるように、これからもご利用者様一人一人としっかり向き合い、信頼関係を築きながら日々頑張っていきたいと思っております。



曾於市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所が市内唯一の事業所として曾於市全域の訪問入浴介護事業を行っています。在宅で生活されている利用者様、そして大切なご家族を介護されている方々の力に少しでもなれたらという思いで私達は日々入浴のサポートをさせていただいています。

曾於市内の訪問入浴介護事業所	住所	電話番号	担当者名
曾於市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所	財部町南俣504番地1	0986-72-0460	久保田

# 曾於市生活相談支援センターより

このセンターは「生活困窮者自立支援法」に基づく相談窓口です

曾於市生活相談支援センターは、生活の不安や悩みを抱えている方からの相談を受け、一緒に考え、解決に向けて支援を行う場所です

例えば『働きたいけど自信がない、自分に合う仕事が見つからない』といった仕事の相談や『家賃や公共料金が払えない』といった家計の相談など生活の中で出てくる様々な悩みについて一緒に考え、解決に向けてお手伝いさせていただきます。

相談時間 月曜日～金曜日 8時30分から17時15分まで（土日、祝日、年末年始を除く）

## 今回はセンターが行っている **フードバンクとの連携** についてご紹介します

フードバンクそおと当協議会は、生活困窮者を対象に食糧を提供するため、フードバンク活用支援事業の実施に関する協定を締結しており必要とする方に食糧支援を行っています。

食糧支援とあわせて健康状態や生活状況を把握し、必要に応じた支援を行います。

生活費が  
足りない・・・  
どうしよう



食べるものが  
ない・・・  
どうしよう



◀寄付でいただいている限りある食糧になるため、必要な分量をお渡ししています。寄り添い、支援を進めていきます。お悩みの方はまずはご相談ください。

曾於市生活相談支援センター

☎0986-57-1750

相談窓口 そお生いき健康センター内  
曾於市末吉町ニ之方 2342 番地 2

### 啓発活動の実施



フードバンクそおと協働して市民祭でフードドライブの活動を実施し、寄付で頂戴した食品等を活用させていただいています。あわせて、フードロス削減の広報と啓発活動を行いました。

### フードバンクそお

フードバンクそおは、曾於地域を中心に、個人や企業等から寄付された食品などを、生活困窮者や子ども食堂などに提供しています。



曾於市社協と協定締結



食料の提供



企業からの食品

あなたやご家族、知り合いの方の  
困りごと・心配ごとはありませんか？  
お気軽にお問合せください  
TEL：0986-72-0460

## 令和6年度 後見人のつどい

令和7年1月27日（月）そお生きいき健康センター

「後見人になったけど・・・どうしたらいいのかわからない」「後見活動の不安や悩みを解消したい」「後見人になることを検討している」「専門家の助言がほしい・・・」など後見人（保佐人・補助人）等が日々直面する悩みや不安、課題について、後見人同士で意見交換したり、専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士等）との相談を行うことで被後見人の権利を守るための後見人活動の充実を目指しています。

今回は、弁護士法人大隅広域ディフェンダー藤尾法律事務所 藤尾直人 弁護士より「成年後見制度との向き合い方」をテーマに制度の成り立ちから制度活用のタイミング、メリット・デメリットについて事例をもとにわかりやすくご講話いただきました。

制度に関心のある方や今後制度活用を考えておられる方など、8名の方にご参加いただき、藤尾弁護士への質問や参加者同士の意見交換を通じ、制度への理解を深める機会となりました。今後もこのつどいを定期的で開催し、後見人支援や制度の普及・啓発に努めます。



## — 福祉サービス利用支援事業 —（日常生活自立支援事業）

### 支援員として地域で活躍してみませんか？

高齢者や障がい者でお困りの方が安心して暮らせるために  
お手伝いしていただける“支援員”を募集しています。



### “支援員”ってどんなことをする人なの？

利用者の様子や  
身の回りの変化など  
訪問での気づきを  
専門員に伝えます。

#### 利用者の 見守り



生活費を払出し、  
利用者へお届けします。  
必要な支払いの  
お手伝いをします。

#### 日常的な 金銭管理の お手伝い



郵便物の内容確認、  
行政機関等への必要な  
手続きの支援を行います。

#### 手続きの お手伝い



「福祉サービス利用支援事業」とは、認知症や物忘れのある高齢者、知的障害、精神障害などで判断に不安のある方で事業の内容を理解できる程度の判断能力がある方を対象としている事業です。地域で生活されるうえで、必要な福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行います。

福祉活動に関心のある方／要自動車免許

平日の昼間で月1～4回  
1時間程度の定期的な活動が可能な方

詳しくは事前面談にて説明します。まずはお気軽にお問い合わせください。 ☎ 0986-72-0460

# 社協会費のことご存じですか？

曾於市の  
地域福祉のため  
会費へのご協力を  
くださいますよう  
よろしくお願いいたします！



曾於市社会福祉協議会  
イメージキャラクター  
「ふくにゃん」

## 社協と会費

社会福祉協議会は、住民の皆様と共に地域福祉を推進していくことを目的とする団体として、地域の見守り活動やサロン活動、地域課題の解決に向けた仕組みづくりなど様々な福祉活動に取り組んでいます。

わたしたちのまちづくりに向けて、皆様が安心して安全に暮らし続けられるように、自治会または個人や団体からお寄せいただく社協会費が地域のふだんのくらしのしあわせを推進していくための財源となっております。

## 会費の種類

一般会員（世帯）	250 円以上
賛助会員（個人）	1,000 円以上
特別会員（法人・団体）	1,000 円以上

会員と会費は年間を通じて募集しています。

## 【令和 6 年度 特別会員のご紹介】

- ・社会福祉法人博風会 /30,000 円
- ・社会福祉法人輪光福祉会 /10,000 円
- ・社会福祉法人笠木福祉会 /10,000 円
- ・社会福祉法人南之郷 /10,000 円
- ・社会福祉法人ひこばえ福祉会 /10,000 円
- ・社会福祉法人博寿会 /10,000 円
- ・社会福祉法人正心福祉会しょうしん月の森こども園 /10,000 円
- ・社会福祉法人おおすみ会 /5,000 円
- ・社会福祉法人恵昭会きらりの星こども園 /5,000 円
- ・社会福祉法人覚照福祉会覚照こども園
- ・社会福祉法人博友会たからべ園
- ・社会福祉法人豊の里特別養護老人ホーム財部寿豊苑
- ・社会福祉法人松山やっちく会末吉まごころ園
- ・太陽の子福祉会おひさまの杜こども園
- ・太陽の子幼稚園
- ・特定非営利活動法人しをんの会
- ・よつば福祉タクシー
- ・財部地区民生委員児童委員協議会 /28,000 円
- ・末吉地区民生委員児童委員協議会 /32,000 円
- ・匿名 他

## 社協会費はこんな活動に使われています

- ① 社会福祉の発展に功績があった方々の表彰や地域住民へ地域福祉活動の普及・推進を図るために曾於市社会福祉大会を開催
- ② 認知症や障がいにより地域で自立した生活が難しい方に対して、福祉サービス利用の援助等
- ③ 被災された方への援護のためにお見舞金の贈呈などの支援
- ④ 低所得者等の経済的自立を援助するために、生活費等の貸し付けを実施
- ⑤ 地域課題を解決するための様々な地域福祉活動

## 新規採用職員紹介

令和7年1月1日付で職員が採用されました。

この度、曾於市社会福祉協議会本所 地域福祉課で勤務させていただくことになりました。前職の経験を活かし、地域福祉を推進する中核団体の一員として地域の皆さまと共に生活課題の解決に取り組み、地域に根ざした活動の推進に努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



本所勤務 地域福祉課地域係 **梶井 華帆**

## やさしいスマホ講座 参加者募集

スマートフォンの使い方を勉強してみませんか？スマホを使った災害時の情報収集の仕方や操作に不安のある人でも安心して使えるように、本会の職員と学生ボランティアがサポートします。皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時 令和7年3月16日（日）10：00～12：00
- 会場 そお生きいき健康センター 集団検診室②，③
- 講師 曾於市社会福祉協議会職員、学生ボランティア
- 定員 15名（先着順）  
※初回参加の方を優先させていただきます。
- 対象 スマートフォンをお持ちの曾於市在住・在勤の方
- 受講料 無料
- 持ち物 筆記用具、スマートフォン（またはタブレット）
- 申込 3月7日（金）までに曾於市社会福祉協議会にご連絡ください。
- 申し込み・お問合せ先  
曾於市社会福祉協議会 TEL：0986-72-0460



本講座は今回で5回目を迎えます。学生ボランティアの丁寧な説明もあり、参加された方からは、毎回好評の声をいただいております。

また、講座の中で社会福祉協議会の業務についても説明させていただきます。

## 無料法律相談開設について

### ひまわりの会による無料法律相談

- 相談料：**無料**
- ※1回につき相談時間は30分以内
- 申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**
- お問合せ先：ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸  
鹿児島市山下町12番17号2階  
TEL：099-227-0041（受付：平日9時～17時）

### ○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健 福祉センター	4月10日 (13時から16時まで)
そお生きいき 健康センター	2月20日 (13時から16時まで)
大隅弥五郎 伝説の里	3月13日 (13時から16時まで)

### 藤尾法律事務所による無料法律相談

- 相談料：**無料**
- ※1回につき相談時間は30分以内
- 申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**
- お問合せ先：弁護士法人 大隅広域ディフェンダー  
藤尾法律事務所 末吉支所 曾於市末吉町本町1-4-5  
TEL：0986-51-9830

### ○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健 福祉センター	3月11日、4月8日、5月13日 (13時から15時まで)
大隅弥五郎 伝説の里	3月18日、4月15日 5月20日 (18時から20時まで)

# たくさんの善意に感謝いたします

曾於市社会福祉協議会では、ご寄付を曾於市民の皆様地域の福祉向上のために大切にに使わせていただきます。掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。（R6.11.1～R7.1.31 受付分）

## 香典返し寄付金

### 財部地区

山元 のり子様／粟谷  
武田 達巳様／田平  
堤 光子様／溝ノ口  
齊藤 律子様  
生山 信子様／川内  
有里 ミク子様／切通  
飯野 幸博様／本切通  
森園 茂様／城山

### 末吉地区

田中 冴子様／六町下  
重久 章紀様／田方西  
堀留 孝一様／外園前  
小田 さとみ様／村山  
折田 昭文様／蔵之町  
郡山 トシエ様／口弁木  
二俣 栄様／森田上  
匿名

### お詫び

「手と手」第93号「香典返し寄付金」における大窪様の氏名に誤りがございました。正しくは「大窪 英与様」でした。心よりお詫び申し上げます。

## 大隅地区

持田 りつ子様／持留  
竹内 昌昭様／中村  
坂口 広様／東久木山  
山下 みどり様／別府  
西 陽子様／松田  
川床 光昭様／本町  
永山 たみ子様／二重堀  
栗迫 京子様／大久保  
唐仁原 鈴子様／新坂元  
山口 順子様／上諏訪  
永田 ミエ子様／野町  
海野 真弓様／中森園  
鮫島 マスエ様／花白  
津留 ユミ子様／下岡別府  
高橋 敦子様／岩川本町  
富田 美智子様／東鍋  
朝倉 幸一郎様  
植村 トシ様／竹山  
福元 秀樹様／栄町



（左）日赤曾於市地区末吉分区長 堀内氏  
（中央）末吉ライオンズクラブ 五位塚氏  
（右）曾於市社協会長 山本

## 一般寄付金品

### 財部地区

山下 貞良様／吉ヶ谷  
匿名／西村／10,000円

### 末吉地区

末吉ライオンズクラブ 様／95,000円  
末吉中39年卒喜寿記念同窓会様  
大園 征郎様／中高松／3,000円  
大園 洋子様／中高松／2,000円

### 大隅地区

森山 時和様／坂元／50,000円  
牧元 宝治様／おりた／100,000円  
上村 妙子様／東旭ヶ丘／30,000円

◀末吉ライオンズクラブより、結成59周年解散事業として、そお生きいき健康センターの社協看板設置費用95,000円を寄付していただきました。また、本会への寄付の他、曾於市共同募金委員会へ50,000円、日本赤十字社曾於地区末吉分区へ50,000円の寄付もいただいております。ありがとうございました。

## 令和7年度情報紙モニター募集

令和7年度情報紙モニターとして、情報紙にご意見をいただける方を募集します。詳しくはお問い合わせください。  
曾於市社会福祉協議会 総務課 TEL：0986-72-0460

曾於市社協情報紙へのご意見はこちらから



## 編集後記

新年が明けて早いものでもう一か月が経ちました。年末年始においては、自宅の浴室や寝室などで亡くなっていらしゃった高齢者が多かったと聞いております。警察署の情報では、持病の急変やヒートショック現象による健康被害が要因と考えられるとのことでした。独居世帯が多い曾於市においては、高齢者の皆さんが地域で元気に過ごしていくうえで大きな課題であると考えます。私たち専門職によるヒートショックの予防対策の啓発や注意喚起はもちろんですが、この課題を地域のこととしてとらえ、高齢者の家族や地域の皆さんと協力してこのような最期を迎える高齢者を一人でも減らせるように取り組まなければならないと思います。今年も地域の皆様とともに歩んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願

N・S



この情報紙は、地域住民の皆様からの赤い羽根共同募金を財源に発行しています。